

建設環境常任委員会

産業建設部建設課の審査

委員長 平野和生

【一般会計】

問 廃止バス路線代替運行事業について、乗客の減少に伴い、異分野と共同して連携運行を行う考えはあるのか？

答 スクールバス及び患者輸送バスについて担当部局に確認したところ、法律上の規制等により連携運行は難しいとの回答があつた。

問 アワサンゴについて、施策の重点化等をどのように考えているのか？

答 旧地蔵小学校跡地を拠点施設の候補地としたことで、昨年度は監視状況調査を実施し、今

年度は、施設整備に向け、環境省が基本方針等を策定する。

拠点施設は、観光的な要素も含まれるため、商工観光課とも連携しながら対応したい。

問 みなどオアシス安下庄に対する今後の支援は？

答 海の市の会議等にも積極的に参画し、集客力を上げるべく対策を講じ、誘客のための案内看板も設置してまいりたい。

【問

力キ養殖パイプ等の流出対策について、町の見解は？

答 9月7日、広島力キ生産対策協議会の271名が、逗子ヶ浜をはじめ、5箇所の海岸で力キパイプの除去作業を行つた。

重要なことは排出抑制と考えており、山口県とともに、広島県や広島県西部漁業振興対策協議会へ、排出抑制を主とする要望を行つていく。

【簡易水道事業特別会計】

問 浮島地区海底送水管布設事業の進捗状況と今後の予定は？

答 進捗率は約15%である。

今後は神浦にポンプ施設を、浮島では送水管・配水管の整備そして、海底送水管の製作と据

え付けを行い、平成31年度末に完了する予定である。

【下水道事業特別会計】

問 久賀・大島処理区下水道事業の進捗状況と、供用開始時期の周知に関する認識は？

答 進捗率は26.2%であり、やや遅れ気味である。

情報提供については、資料が閲覧できるようにするなど、効果的な方法を考えたい。

【農業集落排水事業特別会計】

問 機能診断業務とは何か？

答 農業集落排水5処理場の長寿命化計画作成にあたり、現状を把握するための現地調査業務である。

【漁業集落排水事業特別会計】

問 使用料の滞納については、どこに問題があると認識しているのか？

答 未収金徴収は町全体で取り組む必要があり、相互に協力し合いながら、未収金の減少に努めたい。



【水道事業企業会計】

問 特例的収入及び支出とは、出納整理期間中の収支と考えてよいか？

答 支出はそうであるが、収入については平成29年度中に収納した平成28年度以前の過年度滞納分である。